

太工通信

令和7年度第3号

労災事故の危険性を体感し、 安全意識を高める ～安全教育を実施～

太工高機械系1年生

太田 機械操作時の危険性を認識しようと、太田工業高機械系の1年生99人が23、24の両日、太田市の同校で安全体感授業に取り組んだ。生徒は労働災害を再現する装置を操作し、実習での事故防止に向けて意識を高めた＝写真。

ローラーやチェーンに手が巻き込まれる装置、圧縮空気ですり出た棒が飛び出して手の骨に見立てた竹の棒が割れる装置などを動かし、危険性を実感した。

配管から部品を外す装置では、水圧を下げる手順を守らないと部品が不意に飛び出すことを確認。宮代翔也さんは「目の前に部品が飛んできて

とても驚いた。初心を忘れず、緊張感を持って取り組みたい」と述べた。

授業は明和町に拠点を置く日本キャンパック（東京都）と太田労働基準監督署が協力して行った。

（正田哲雄）

労災事故の危険性実感

